



シンポジウム 開催!!

認知症を早期で くいじめよう!

認知症予防教室を増やすために

五月二〇日(土)午後、「ゆめりあうじ」を会場に法人の
第二回通常総会に続き、右記テーマでシンポジウムを開催した。

当法人にとっては設立三年目にして
はじめてのシンポジウムの企画であつ
たが、予定の五十名をはるかに超える
九十余名の参加者をお迎えすること
が出来、認知症予防についての関心の
高さがうかがわれた。
私もここ数年、認知症予防活
動の啓発に積極的に取り組んできた。

やっとこのたびの改正介護保険法の
中に介護予防が重点的に設定され、「認
知症予防」という活字が始めて陽の目
を見た。

今回のシンポジウムは私どもの活
動に呼応してとり組まれたいくつかの
自治体などの「認知症予防教室」につ
いての報告と、これからの展望などに
ついて五名のシンピジストと二件のフロ
アー発言を交え、また会場参加者から
の質疑も含めて二時間みっちり充実
したものとなった。

詳細は当日の発言をそのままテー
プに吹き込んだものを基礎に小冊子
を作成する運びになっているので、そ
れに譲ることにするが、ここでは発表
された報告の特徴的なことを紹介し
たい。

二〇〇三年四月から早くも取り組
まれた宇治市福祉サービス公社では、
増田方式を基礎にしながら一般的な
健康管理に関する講座も含め、スタッ
フだけでなく多くのボランティアの支
援を得ながら、認知症予防に関する
理解者を地域に広めた。

泉南市地域包括支援センターでは
「なでしこりんくう」と「六尾の郷」双
方からの報告があり、地域性に配慮し
て認知症のレベルをそろえずに希望者
に参加してもらう方式にしたため、き
め細かな配慮と工夫を必要としたが、
非常に多くの地域で認知症予防教室
を広げることが出来た。

八幡市ではNPO法人に委託した
形で進められ、増田先生の速攻法によ
りマニュアルどおりの教室を開催し、二
十回五ヶ月の教室を通して利用者の

MMSTテストの結果が平均3.9点上昇
するという画期的な成果を生んだ。

「NPO法人認知症予防ネット」独
自の取り組みとして木津町内に会場
を提供していただいていた開設した予防
教室は、まったく行政などからの助成
もなく法人の独自財源で運営したた
め、資金的なやりくりが困難ではあつ
たが、地域を越えた参加希望者を受
け入れられたことや、期間中二十二名
の研修生を受け入れることも出来た
というメリットもあつた。

なおフロアーからの報告では京都府
与謝野町(旧加悦町)と城陽市内の
NPO法人水度坂友愛ホームの取り
組みも報告された。

今後まだまだ認知症患者が増え
ることが予測されるこの時代に、地域
ぐるみで認知症の早期発見の仕組み
をつくり上げるとともに、認知症の進
行をくいじめ予防教室を、全国津々
浦々に広めていくことが必須である
ということが確認されたシンポジウム
であつた。

(コーディネーター 松島慈児)

Column 06

認知症は 予防の時代へ……

医療、介護の対象としてのみ考
えられてきた認知症ですが、脳活
性化訓練で進行を食い止め、予
防できる、笑顔に戻れることが明
らかになりました。

6年前、91歳で亡くなった母も
晩年認知症で、本人は勿論、家族
も大変でした。当時、内科医の弟
や私も、医療として症状を捉える
事ができても、早期の予防には考
えが及ばず残念な思いが残ります。

一昨年京都で開かれたアルツ
ハイマー病国際会議において、認
知症は予防の時代に移ったとア
ピールされました。この会議に当
法人もポスターセッションで発表、
予防の実証に大きな反響があり
ました。

また、今年5月のシンポジウムは、
認知症予防ネット2年間の集大成
というに相応しく、満員の盛況で
スリーA方式を中心とした脳活性
化の取組みについて、内容ある
話し合いが行われ、京都南部から
他の府県に広く認められつつ
あることを感じました。

認知症を早期にくいとめる予
防教室の設置を働きかけること
を市民の立場で推進して行くべ
きだと考えます。(富田)

事業報告 (平成17年4月1日から18年3月31日まで)

1 認知症予防の啓発広報

『痴呆(認知症)予防教室(増田方式)に関する調査研究報告書』
(高齢社会をよくする女性の会・京都制作)を、約200冊配布
ホームページの維持管理=月1回~数回の更新
機関紙の発行 年間1000部×3回

2 自治体や福祉関連事業者へ 認知症予防教室開催の提言

*今年4月の介護保険法の改正に伴い、介護予防がしっかりと位置づけられ、介護予防を進めるためのマニュアルの中に認知症予防が含まれたので、全国自治体の首長に宛て、「痴呆(認知症)予防教室(増田方式)に関する調査研究報告書」と、認知症予防への取組み提言および、アンケートを発送。1月末から約1週間で全国2160(1月の自治体数)の市区町村すべてに発送。

*その他、個人的提言 2件

3 講演会、認知症予防教室への講師派遣

*講演会への講師派遣=講演9回、ミニ講演18回

*教室へのスタッフ派遣=木津27回、城陽20回、八幡23回、加悦町3回

木津・物忘れ予防教室開催

4月5日第1回教室開始。20回の教室を8月16日に終了。
終了後は毎月1回のOB会を開催。

八幡市からの委託事業

認知症予防教室開催 会議等を除く実働日数は31日超。
7月28日(金)第1回教室開始。12月9日に終了。その後1月、2月、3月とOB会を自主運営。

4 認知症予防に関する講演会等の自主開催

*自主講演会の開催は、5月に1回、7月に2回。

NEWS シンポジウムでアンケートをお願いしました

参加者の約3割の方からご記入いただき、
貴重なご意見や励ましに一同感謝しております。
これからの活動に生かしてまいります。

NEWS シンポジウムの小冊子作成中

えう、ご期待!!

報告者の方と、参加者の方と、ともに熱のあふれたシンポジウムに感激しました。認知症予防ネットが全国に広がっていくには、個人、NPO、事業者、行政、地域全体のネットワークが大切と思いました。今後のご活躍を、ぜひ願っています。

(やぎ・みね)



第二回通常総会

日時：平成18年年5月22日(土)

場所：宇治市「ゆめりあうじ」

●第一部 総会

議事

第1号議案

平成17年度事業報告

第2号議案

平成17年度決算報告・監査報告

第3号議案

任期満了後7月1日よりの役員紹介

第4号議案

平成18年度事業計画案

第5号議案

平成18年度予算案

●第二部 記念シンポジウム

「認知症を早期でくい止めよう
—認知症予防教室を増やすために—」

・シンポジスト

関村恭代さん

宇治市福祉サービス公社介護予防サポートセンター

福本浩子さん

泉南市地域包括支援センターなでしこりんくう

杉山美雪さん

泉南市地域包括支援センター六尾の郷

倉谷昌枝さん

八幡市地域包括支援センター

松下市子

NPO法人 認知症予防ネット

・コーディネーター

松島慈児

NPO法人 認知症予防ネット

平成18年度 事業計画

- 啓発のための広報(機関紙・ホームページ・チラシ配布)を継続する。
- 提言活動を活発にし、本格的予防教室でなくても協力する。
 - ・デイサービスセンターや老人会等にもスリーA増田方式を活用するように、呼びかける。
 - ・シンポジウムの記録を冊子化し、アンケートで資料を欲しいと意思表示した80の自治体に送付・提案事業とする。冊子は200冊程度作成し希望者に頒布する。
- 他教室への応援は、城陽「友愛ホーム」「八幡市社協」に(各3人20回)定期派遣の予定。その他、京都府内に限らず教室開設団体には積極的にアドバイスに出向きたい。積極的とは営利を目的にしないことであり、第1回予定は吹田市。
- 講演会の自主開催を実施するよう心がける。
- 基盤整備の充実として
 - ・会員増強のため「入会のご案内」やリーフレットを作成し、配布する。
 - ・事務量の偏りを平衡化する。
 - ・非常勤専従事務員の設置を検討する。
 - ・赤字解消のために助成金の申請をする。
- 木津教室の第2期

昨年8月で第1期教室を終了してOB会を月に1回開いている。その中での変化として、OBの参加が2名に減少し、新規参加が4名と変化がある。

木津に隣接する加茂町や京田辺市、宇治田原町からも行政区域をこえた参加があるので、現実に乗った広報を行って、第2期木津教室の開催を目指したい。

平成18年度 収支予算書

| (収入の部) | | 予算額(a) | 前年度予算額(b) | 差額(a-b) |
|-----------|-------------|-----------|------------|------------|
| 会費収入 | 年会費 | 782,000 | 660,000 | 122,000 |
| | 入会金 | 20,000 | 33,000 | -13,000 |
| | 小計 | 802,000 | 693,000 | 109,000 |
| 事業収入 | 認知症予防の啓発・広報 | 1,000 | 1,000 | 0 |
| | 教室開催の提言 | 1,000 | 1,000 | 0 |
| | 講師派遣謝礼 | 451,000 | 250,000 | 201,000 |
| | 講演会の開催 | 40,000 | 225,000 | -185,000 |
| | その他必要な事業 | 1,000 | 1,700,000 | -1,699,000 |
| | 小計 | 494,000 | 2,177,000 | -1,683,000 |
| | 寄付金・助成金等 | 1,369,000 | 1,217,940 | 151,060 |
| 預金利息 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期収入合計(A) | 2,665,000 | 4,087,940 | -1,422,940 | |
| 前期より繰越金 | 253,120 | -232,940 | 486,060 | |
| 収入合計(B) | 2,918,120 | 3,855,000 | -936,880 | |

| (支出の部) | | 予算額(a) | 前年度予算額(b) | 差額(a-b) |
|-------------|-------------|-----------|------------|------------|
| 事業費 | 認知症予防の啓発・広報 | 610,000 | 600,000 | 10,000 |
| | 教室開催の提言 | 160,000 | 60,000 | 100,000 |
| | 講師派遣 | 1,001,000 | 240,000 | 761,000 |
| | 講演会の開催 | 100,000 | 225,000 | -125,000 |
| | その他必要な事業 | 50,000 | 1,980,000 | -1,930,000 |
| | 小計 | 1,921,000 | 3,105,000 | -1,184,000 |
| 管理費 | 人件費 | 374,000 | 600,000 | -226,000 |
| | 通信運搬交通費 | 300,000 | 124,000 | 176,000 |
| | 事務消耗品費 | 70,000 | 26,000 | 44,000 |
| | 小計 | 744,000 | 750,000 | -6,000 |
| 当期支出合計(C) | 2,665,000 | 3,855,000 | -1,190,000 | |
| 当期収支差額(A-C) | 0 | 232,940 | -232,940 | |
| 次年度繰越金(B-C) | 253,120 | 0 | 253,120 | |

平成17年度 収支決算書

| (収入の部) | | 当初予算(a) | 決算額(b) | 差額(a-b) |
|-----------|-------------|-----------|-----------|------------|
| 会費収入 | 年会費 | 660,000 | 673,800 | -13,800 |
| | 入会金 | 33,000 | 54,000 | -21,000 |
| | 小計 | 693,000 | 727,800 | -34,800 |
| 事業収入 | 認知症予防の啓発・広報 | 1,000 | 0 | 1,000 |
| | 教室開催の提言 | 1,000 | 0 | 1,000 |
| | 講師派遣謝礼 | 250,000 | 2,440,690 | -2,190,690 |
| | 講演会の開催 | 225,000 | 31,500 | 193,500 |
| | その他必要な事業 | 1,700,000 | 0 | 1,700,000 |
| 小計 | 2,177,000 | 2,472,190 | -295,190 | |
| 寄付金・助成金等 | 1,217,940 | 1,362,940 | -145,000 | |
| 預金利息等 | 0 | 3 | -3 | |
| 当期収入合計(A) | 4,087,940 | 4,562,933 | -474,993 | |
| 前期より繰越金 | -232,940 | -232,940 | 0 | |
| 収入合計(B) | 3,855,000 | 4,329,993 | -474,993 | |

| (支出の部) | | 当初予算(a) | 決算額(b) | 差額(a-b) |
|-------------|-------------|-----------|-----------|------------|
| 事業費 | 認知症予防の啓発・広報 | 600,000 | 360,670 | 239,330 |
| | 教室開催の提言 | 60,000 | 445,694 | -385,694 |
| | 講師派遣 | 240,000 | 2,151,642 | -1,911,642 |
| | 講演会の開催 | 225,000 | 552,204 | -327,204 |
| | その他必要な事業 | 1,980,000 | 0 | 1,980,000 |
| 小計 | 3,105,000 | 3,510,210 | -405,210 | |
| 管理費 | 人件費 | 600,000 | 210,500 | 389,500 |
| | 通信運搬交通費 | 124,000 | 288,044 | -164,044 |
| | 事務消耗品費 | 26,000 | 68,119 | -42,119 |
| 小計 | 750,000 | 566,663 | 183,337 | |
| 当期支出合計(C) | 3,855,000 | 4,076,873 | -221,873 | |
| 当期収支差額(A-C) | 232,940 | 486,060 | -253,120 | |
| 次年度繰越金(B-C) | 0 | 253,120 | -253,120 | |

平成18年5月20日(土)総会において

上記の通り、平成17年度の決算報告をいたします。

会計 原口 熱美

本会計の監査を行い、正確且つ適正であることを認めます。会計監査 松島 慈児

活動報告 (06年2月~6月)

- 2月 2日 ミニ講演/京都市左京区/京都友の会
- 4日 講演/大阪市/NPO法人ふくてつく
- 7日 教室/木津町/木津教室OB会
- 17日 教室/八幡市/八幡教室OB会
- ◎ 教室支援/城陽市/NPO法人友愛ホーム
5日・12日・19日・26日
- 3月 1日 ミニ講演/兵庫県尼崎市/在宅介護支援センター
- 7日 教室/木津町/木津教室OB会
- 8日 講演/大阪府泉南市/認定調査従事者研修会
- 10日 教室/八幡市/八幡教室OB会
- 11日 ミニ講演/京都市左京区/学区社協(すこやか学級)
- ◎ 教室支援/城陽市/NPO法人友愛ホーム
5日・12日・19日・26日

- 4月 2日 教室支援/城陽市/NPO法人友愛ホームOB会
- 2日 研修/大阪市/NPOコムケア交流会に参加
- 4日 教室/木津町/木津教室OB会
- 17日 教室/八幡市/八幡教室OB会
- 5月 7日 教室支援/城陽市/NPO法人友愛ホームOB会
- 9日 教室/木津町/木津教室OB会
- 20日 総会/宇治市/通常総会と記念シンポジウム
- 25日 講演/大阪府吹田市/吹田市立保健センター
- 28日 広報/木津町/兜台自治会餅つき大会
- 6月 4日 教室支援/城陽市/NPO法人友愛ホームOB会
- 5日 提言/宇治市/小倉デイサービスセンター
- 5日 講演/宇治市/宇治日和
- 6日 教室/木津町/木津教室OB会

*ミニ講演とあるのは、短い講演とミニ体験教室の併用です。

今後の予定

- 6月 13日(火) 講演/宇治市/デイサービスセンター
- 27日(火) 講演/八幡市/NPOの勉強会
- 29日(木) 講演/京都市/ひとまち交流館
- 7月 2日(日) 教室支援/城陽市/NPO法人友愛ホームOB会
- 3日(月) 講演/宇治市/宇治日和
- 4日(火) 教室/木津町/木津教室OB会(毎月第一火曜日)
- 8月 1日(火) 教室/木津町/木津教室OB会
- 19日(土) 講演/大阪市/園芸療法研究会
- 10月 8日(火) 講演/滋賀県彦根市/デイサービスセンター
- 14日(土) 講演/宇治市/介護者の会

事務局からのご案内

会員募集

認知症高齢者の増加が見込まれる中、私たちは、認知症予防教室の全国津々浦々への拡大を願い、スリーA方式による成果の素晴らしさを広報するために、NPO法人を立ち上げました。

趣旨にご賛同くださる方は、ぜひ会員となって、活動を支えてください。詳しくは事務局へお問い合わせください。

- (1)正会員 — 入会金 2,000円
年会費 6,000円

(2)賛助会員

- 個人 入会金 1,000円
年会費 (1口) 2,400円 1口以上
- 団体 入会金 3,000円
年会費 (1口) 24,000円 1口以上

| | |
|------|-----|
| 正会員 | 75名 |
| 賛助会員 | 79名 |
| 団体会員 | 3名 |

(4月1日現在)

痴呆(認知症)予防教室(増田方式)に関する調査研究報告書

当法人の友好団体である「高齢社会をよくする女性の会・京都」では、平成16年度の厚生労働省補助事業として、(株)UFJ総合研究所に委託し、認知症予防教室(スリーA方式)について調査研究を行った。この報告書は当法人でも実費 郵送料込み(500円)で取次ぎ中。

〒611-0031 宇治市広野町一里山15-10 電話0774-45-2835 FAX0774-45-2793
電子メールは… info@n-yobo.net

Column07

すてきな笑顔

遅い朝食をしながら新聞をめくっていると、「高齢社会をよくする女性の会」という文字が目飛び込んできた。
あれから三年、今はこの会からさらに認知症予防ネットのメンバーとなって、お手伝いをしている。

：予防教室でのお仲間さん達の笑顔はとってもすてきた。小声で返事をされていた方が、ゲームでお腹を抱えて笑い、お茶を飲みながらの一時では、その日に着て来られた手編みのセーターの講習をしたり、お総菜の話をしたり、ある時は季節のお花づくりの話を、お仲間さん同士で話はずきない。そして来週の日を約束し、手を振りながら笑顔でお別れする…

予防教室の成果を知ってもらいたい、なるだけ多くの方を引き戻すことができれば…
一日も早く京都市内で予防教室を開設したいと、今日も教室にいそぐ。
(赤松)

編集後記

どこの港にも、待つている人がいる！
笑顔をお忘れかけた人たちが待っている。心配する家族も待らわびている。全国展開を祈り市区町村へスリーAの光を届けた。灯台の光を頼りに航海するのみ！
(福井)